

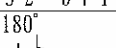
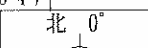
ボーリング柱状図

調査名 一本松川護岸現況調査委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 8			調査位置		福岡市城南区長尾5丁目外地内					北緯		33° 33' 37.4"						
発注機関	福岡市 道路下水道局 建設部 河川課					調査期間		平成 23年 9月 28日 ~ 23年 12月 26日				東経		130° 22' 39.1"					
調査業者名	日本地研株式会社 電話 (092-571-2764)			主任技師		橋本 圭太郎		現場代理人		山口 敏史		コア鑑定者		山口 敏史		ボーリング責任者		田中 茂喜	
孔口標高	GH=+4.04m		角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機		YBM-05		ハンマー落下用具		コーンプーリー			
総掘進長	8.00m									エンジン		NFAD8-K		ポンプ		SP-30			

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験 (掘進月日)		
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料 番号		採取 方法	
												0	10	20								
1	3.29	0.75	0.75		砂礫	黄褐			φ2~50mm程度の亜角礫を主体 マトリックスは細砂~中砂		1.15	1/30		1/30	1							
2					粘土混じり砂	暗灰	非常に緩い		GL-1.75m~GL-1.80m間は細粒分の混入多い 砂は細砂主体 全体的にルーズな土質である φ2~5mm程度の亜角礫を少量混入する		1.45				2							
3	1.34	1.95	2.70		砂混じり粘土	淡青灰		軟らかい	試料は軽い指圧で容易に凹む程度の硬さ 腐植物片を少量混入する		2.15	1/15	1/15	2/30	4							
4	0.24	1.10	3.80		砂	灰			砂は細砂~中砂を主体とする φ20mm程度の亜角礫を少量混入する		2.45											
5	-0.11	0.35	4.15								3.15	1	1	2	4/30							
6					風化砂質頁岩	暗青灰	非常に密な		砂質頁岩の風化帯(軟岩相当層) 試料は固結土状で中くらいの指圧で土砂状~礫状となる 下位は礫状~岩片状コアで採取される 部分的に硬質部分を残留する		3.45	38	12/2	50/12	125							
7											4.15											
8	-3.96	3.85	8.00								4.27	22	23	5/2	50/22	68						
9											5.15											
											5.37	50			50/10	150						
											6.10											
											6.20	50	3		50/3	500						
											7.00											
											7.03											
											8.00	50	6		50/6	250						
											8.06											

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。